

童話本を作ろう（２）

1. 準備

- (1) メモ帳やワードなどで、童話をつくります。
 - (2) おはなしに沿った絵を鉛筆やペンで描き、スキャナで取り込みます。
 - (3) (2) の線画は、白い部分を透明化した PNG 画像ファイルとして保存します。
- ここでは、添付の「西の森のぼうけん.txt」、「00.png」～「07.png」を使って説明します。

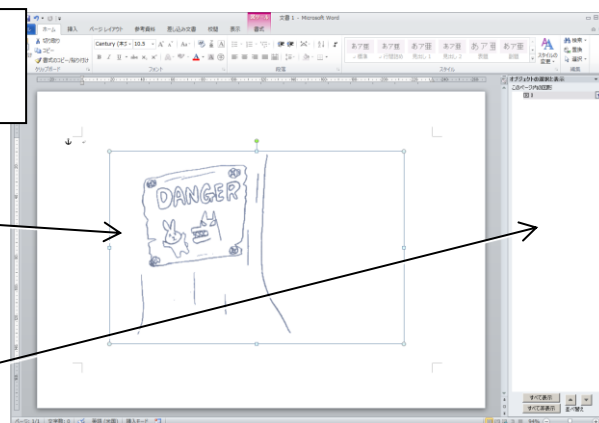
2. 塗り絵

用意した線画に、ワードを使って、水彩風の色をつけていきます。

- ①「ページレイアウト」タブで横向きにし、「表示」タブで1 ページ全体を表示させます。

- ②01.jpg を挿入し、適当に拡大しておきます。線が薄いときは、「書式」タブ→「色」で「濃い青」などに。

- ③「書式」タブ→「オブジェクトの選択と表示」を表示させておきます。

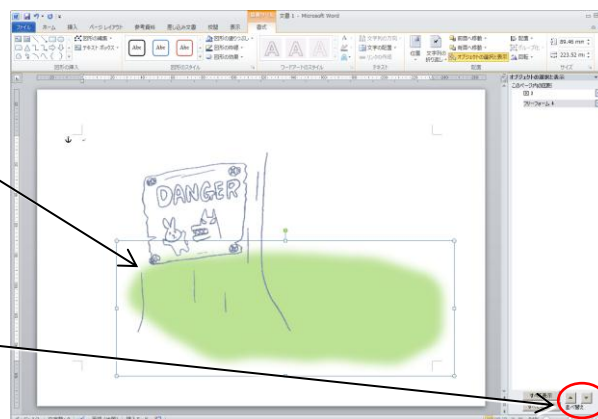


- ④背景を描いてみましょう。
「挿入」→「図形」→「フリーフォーム」で描きます。
※マウスを離しても、描き終われないときは、ダブルクリックで終了。塗りつぶされていなくても、だいじょうぶ。

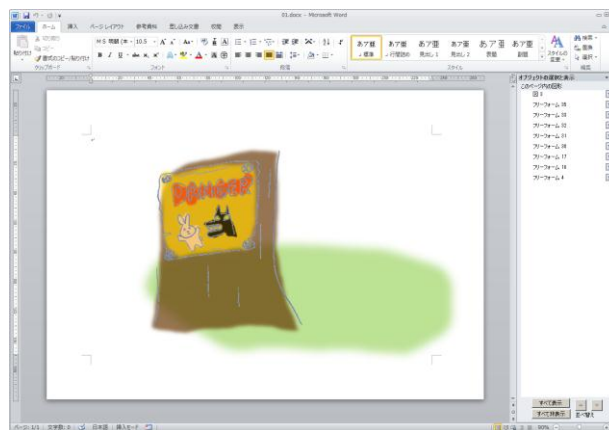


- ⑤好みの色に塗りつぶし、透過性を30%前後にします。枠線はなし。「図形の効果」で、周辺をぼかします。

- ⑥「並べ替え」ボタン▼で、背面へ移動します。

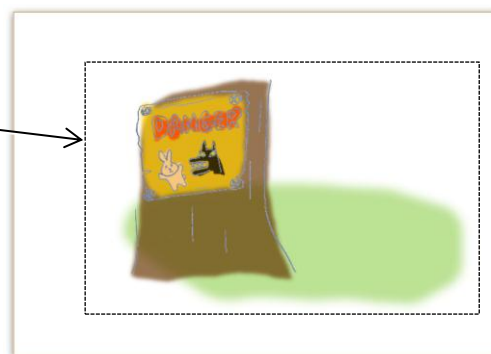


⑦他の部分も、同様にして色付けしていきます。



⑧印刷プレビューを表示し、キャプチャ・ソフトなどを使って、欲しい部分をキャプチャ→画像ファイルとして保存します。

※図・図形をすべて選択→コピー→図として貼り付け でもよさそうですが…
ワードの特性で、透過性がきれいに出来ないことがあります。

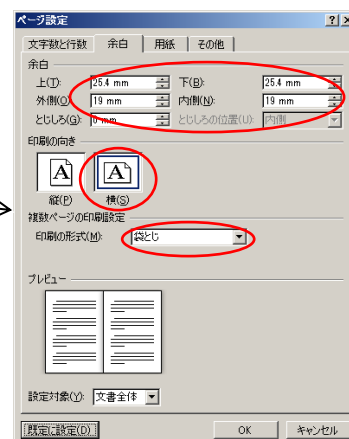


同様にして、ほかの図も、色付けしていきましょう。

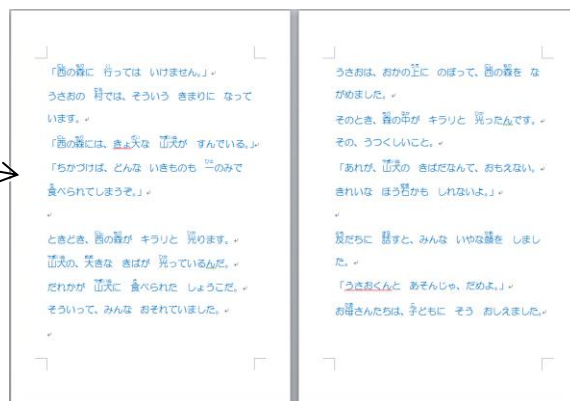
図形は、フリーフォーム以外にも、爆発、楕円、角丸四角形などもベンリです。
空の塗りつぶしなどは、グラデーションを使うと、きれいに表現できます。

3. 本文入力

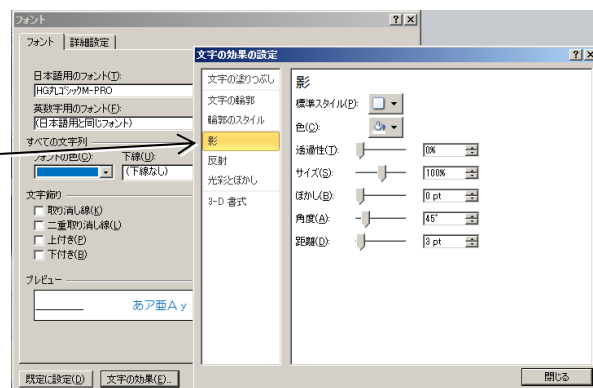
①新規文書を作成して、
「ページレイアウト」タブ→「余白」
→「ユーザー設定の余白」で、袋とじにします。
印刷の向きは横、
余白は上下は 25mm・内外は 20mm 程度に。



②「西の森のぼうけん.txt」を開き、文章全体をコピー→ワードに貼り付けます。
フォントの種類・色・大きさを調整し、漢字にルビをふります。



③全体を選択して、「フォント」のダイアログランチャー→「文字の効果」→「影」で、白い影をつけます。
※透過性とぼかしは、0にします。
絵と重なったときに、読みやすくなります。



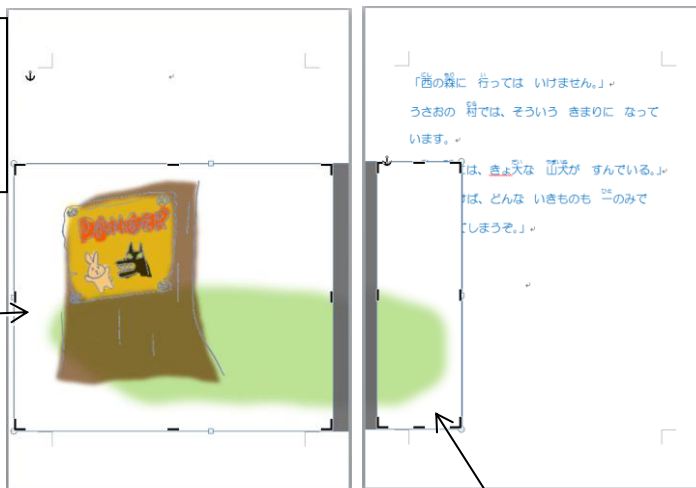
4. 絵の挿入

①文頭に改ページを入れ、1 ページ目は表紙ページにします。
以後、1 節ごとに改ページを入れます。
※改ページは、「挿入」タブ→「ページ区切り」、または **Ctrl+Enter**。



②2 ページ単位で編集していきます。
※2・3 ページだったら、絵から「3 ページ目に文章を入れよう」と判断。1 節目の前に改ページを入れます。

③「01.png」に色付けした図を、2 ページと 3 ページに挿入。絵が見開きでつながるように、それぞれトリミングします。



④文章があるほうの図は、「テキストの背面へ移動」してください。

ウラ表紙（14 ページ）まで完成したら、できあがり。